

## 地域住民への健康被害の可能性について

○ 7月21日時点での新聞報道による一般住民への被害の可能性のあるものについてまとめたもの。

- ① 兵庫県尼崎市（7/16朝日新聞 ほか）  
クボタ旧神崎工場周辺  
既に3名に見舞金を支払っている  
周辺住民で34名死亡（うち中皮腫による死亡31名）、10名が療養中
  
- ② 奈良県斑鳩町（7/16朝日新聞）  
ニチアス子会社の竜田工場  
周辺住民1名が中皮腫で死亡。
  
- ③ 埼玉県羽生市（7/17朝日新聞）  
曙ブレーキ工業周辺  
70年代に周辺住民11名が死亡（肺がん、後腹膜腫瘍、がん性腹膜炎）。  
※ 従業員の家族4名も肺がんで死亡  
当時の労働基準監督署が労働基準局へ報告済みだが、対応はなし。
  
- ④ 奈良県王寺町（7/21産経新聞）  
ニチアス王寺工場  
周辺住民3名が中皮腫で死亡（うち1名は長男の作業服を洗濯していた女性）。  
周辺住民1名が中皮腫の疑いで療養中。

# 住民31人、中皮腫で死亡

## 旧工場周辺 クボタに相談

アスベスト（石綿）に  
関係する病気で従業員ら  
78人の死亡が確認された  
大手機械メーカー・クボ  
タの旧神崎工場（兵庫県  
尼崎市）をめぐり、新た  
に周辺住民31人が、石綿  
と関連の深い中皮腫で死  
亡していたことがわかっ  
た。同社は工場との因果  
関係を調べる。石綿によ  
る健康被害が工場などの  
従業員にとどまらず、近  
隣にも広く及んでいた可  
能性が出てきた。

＝3面に関係記事  
同社によると、6月末  
に従業員らの健康被害が  
明らかになって以来、51  
人の死亡例について相談  
があり、周辺住民からの  
相談で34件を占めた。残

り17人は従業員や協力会  
社員に関する相談で、う  
ち5人は中皮腫で死亡し  
ていたケースだった。  
また、石綿関連の病氣  
で療養中の相談も15件あ

## ニチアス系周辺で1人

アスベストによる疾病  
で多くの従業員が死亡し  
たニチアスの子会社「竜  
田工業」（奈良県斑鳩  
町）の近隣に住んでいた  
女性（当時86）が97年

石綿が原因とされるがん  
「中皮腫」で亡くなった  
ことがわかった。周  
辺住民の健康被害が明ら  
かになったのは、クボタ  
旧神崎工場に次いで2カ  
所目。竜田工業は17日に

った。10人が周辺住民、  
残りは工場で働いていた  
元社員からだった。  
同社は亡くなった住民  
については今後、工場  
で石綿を扱っていた時期に

開いた住民向け説明会  
で、「住民被害の可能性  
は極めて低い」と説明し  
ていたが、今後の調査し  
だいでは被害が広がる恐  
れも出てきた。

女性の60代の長男によ  
ると、女性が住んでいた  
一戸建て住宅の隣接地で  
43年、同社が操業を始め  
た。女性は97年7月、  
「胸が痛む」と訴えて中  
皮腫と診断され、同10月

周辺に住んでいたのかな  
どを個別に確認する。  
同社はこれまで旧神崎  
工場の周辺住民について  
は、中皮腫を治療中の3  
人に見舞金を支払った。

に亡くなった。医師から  
「石綿が原因かもしれない  
」と言われたが断定で  
きず、死亡診断書には  
「原因不明」と記され  
た。

女性が死亡した直後、  
長男は同社に「石綿との  
関連を調べてほしい」と  
求めたが、「調査する」  
と言われたきり、連絡は  
なかったという。  
朝日新聞の取材に対

し、同社の金野啓治・管  
理課長は「当時の担当者  
が退社しており、詳しい  
ことがわからない。状況  
把握に努め、対応を検討  
したい」と話した。

# 労基署「石綿で住民死亡の疑い」 77年に指摘、国対策取らず

埼玉

埼玉県羽生市の大手プ  
レーキメーカー「曙フ  
レーキ工業」の羽生製造所  
を70年代に調査した労働  
基準監督署が、外部にア  
スベスト(石綿)が飛散  
して住民11人が死してい  
る可能性を指摘してい  
たことが、朝日新聞が入  
手した公文書などで分か  
った。労基署は、具全体  
を統括する旧労働省の埼  
玉労働基準局に、早急な  
対応を求めたが、対策は

とられなかった。当時、  
石綿の危険性は知られて  
おり、旧労働省も規制を  
始めていた。二面に  
「時時刻刻」など  
公文書は、管轄する行  
田労働監督署長が、埼玉  
労働局長あてに書いた77  
年7月28日付の「曙フレ  
ーキ工業関係の情報につ  
いて」など。文書など  
によると、労基署は76年  
12月、石綿を使って自動  
車のブレーキ部品を作っ  
ていた羽生製造所内で、  
基準を越す石綿が漂って  
いることを確認した。

当時、月約1000トンの  
石綿が使われており、排  
気装置などが不足してい  
た。労基署は77年6月、  
同製造所を衛生管理特別  
指導事業場に指定、環境  
の改善を指導した。  
次に周辺住民の健康  
被害を心配し、59年から  
77年の間に死亡した住民

の死因を調べた。  
結果、羽生製造所と近  
くの下請け工場の周囲8  
00メートル以内の11人  
が、67年から76年にか  
けて肺がんや後腹膜腫瘍、  
がん性腹膜炎と亡くなっ  
ていった。ほぼ同時期に市  
内に住む従業員の家系4  
人も肺がんで死してい  
た。文書は石綿粉じんの  
外部に対する影響が甚  
重であると指摘している。

当時、行田労働監督  
署長だった井上浩三(61)  
は文書の作成を認めた。  
井上元署長は「腹膜の  
がんなどは、今なら中皮  
腫と判断される可能性が  
ある」と話す。

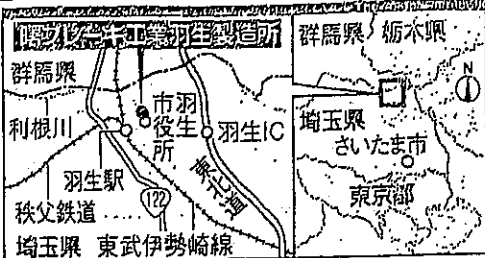
曙フレーキ工業によ  
ると、羽生製造所は38年か  
らブレーキ部品に白粉綿  
を使い、00年に使用をや  
めたという。75年から00  
年の間に、羽生製造所の  
元従業員1人が石綿が原

因の肺がんで、下請け工  
場の元従業員2人が石綿  
肺がんで死亡している。  
工場は石綿と住民の死  
亡との因果関係は、はっ  
きりしない。関係がある  
としても、吸い込んだ時  
期は数十年さかのぼるこ  
とみられ、当時は石綿の危

険性は認識されていなか  
った。井上元署長は78年  
春に退官した。埼玉労働  
基準局は当時、曙フレーキ工  
業に環境改善を命じた記  
録はあるが、それ以外に  
どういつ対応をしたかは  
わからないという。  
曙フレーキ工業の話  
周辺への影響はなげと思  
っていた。大至急、事実  
関係を確認したい。70年  
代半ば以前のことには記録  
も少なく、退職者に聞き  
取るなどして、つかんだ  
情報は公開したい。  
(三馬豊弘、神田剛)

ニチアス工場周辺 中皮腫で3人死亡  
アスベストが原因とみ  
られる中皮腫などの疾患  
で、従業員が死亡してい  
た建材メーカー「ニチア  
ス」の工場(奈良県生駒  
市)は、20日、近隣(同  
市)で明らかになってい  
る。  
住む男性3人が中皮腫  
で死亡していたことが新  
たに分かったと発表し  
た。同工場ではアスベ  
ストを使い建材を製造して  
17年に六十四歳で死亡

望で詳細は公表されてい  
ないが、運送会社勤務  
で、同工場で集荷作業を  
していたことがあきまら  
れた。  
また、同工場で集荷作  
業の経験がある運送会社  
の従業員男性(50)は、中  
皮腫の疑いがある病室中  
といる。  
同工場が今月四日に開  
設した相談窓口に寄せら  
れた周辺住民からの連絡  
をまとめた。



工場周辺の住民が中皮  
腫を発症した例は、大手  
建材メーカー「ニチア  
ス」の工場(奈良県生駒  
市)で明らかになってい  
る。  
住む男性3人が中皮腫  
で死亡していたことが新  
たに分かったと発表し  
た。同工場ではアスベ  
ストを使い建材を製造して  
17年に六十四歳で死亡

工場出入りの運送業者  
だった長男の作業服を洗  
滌していた同町の女性  
は、13年四月に八十五  
歳で死亡。洗滌していた  
のは昭和四十年前後で、  
自身も11カ月程度、同工  
場でアルバイトの経験が  
あったという。  
もう一人は、家族の希

望で詳細は公表されてい  
ないが、運送会社勤務  
で、同工場で集荷作業を  
していたことがあきまら  
れた。  
また、同工場で集荷作  
業の経験がある運送会社  
の従業員男性(50)は、中  
皮腫の疑いがある病室中  
といる。  
同工場が今月四日に開  
設した相談窓口に寄せら  
れた周辺住民からの連絡  
をまとめた。

産経  
7/21  
朝 30面